

令和元年度 第5回 多摩市スポーツ推進審議会 会議録（要旨）

■開催日時 令和元年11月14日（木） 午後4時30分～午後5時30分

■開催場所 多摩市役所 市役所特別会議室

■出席委員 9名

小林 勉委員、永吉 英記委員、甲田 不二男委員、岩井 啓子委員、石川 秀明委員、伊藤 智子委員、齋藤 裕委員、若月 寛子委員、佐々木 雅士委員

■欠席委員 中村 一昭委員

■事務局

阿部市長、小林部長、鈴木課長、小泉主査、加藤主査、杉山主事、植村主事
（株）地域計画建築研究所 東京事務所 遠藤氏

■傍聴者 なし

■議事次第

- 1 開会
- 2 答申
- 3 会議録（要旨）確認
- 4 その他
- 5 閉会

■配付資料

資料 1 多摩市スポーツ推進計画（原案）

資料 2 令和元年度第4回多摩市スポーツ推進審議会 会議録（要旨）

会 議 録 (要旨)

【1 開会】

【2 答申】

小林会長より市長へ答申

市 長：スポーツ推進計画策定にあたっては、お忙しい中、委員の皆様にも長期にわたって議論頂き、心から感謝している。本市を走る東京 2020 オリンピック競技大会自転車ロードレースのテストイベントがあったり、アイスランドの事前キャンプが決定したりと、本市においてスポーツに関する様々な出来事があったこの時期と計画策定の時期が重なったことは、とても意義深いことだと感動している。計画の内容も、スポーツ基本法をもとにしながらも、本市の地域コミュニティや学校、子どもたちなど様々な要素が網羅されている。このスポーツ推進計画を総合計画の中に位置づけながら、スポーツを通して、健幸都市の実現に向けて取り組んでいきたい。

〈懇談〉

委 員：令和元年の節目の年に審議会に参加できたことが有意義であった。今日の答申で終わりではなく、計画期間は10年、また、5年で中間の見直しがあるので、注意深く見守っていく必要があると思う。審議会を通じて本市の良さを再認識することができた。

委 員：策定のタイミングが良かったと思う。来年東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会が開催されるが、マラソンは札幌で開催されることになった。スポーツにおいて、暑さの危険性が考えられるようになったということだと思う。オリンピックや今年開催されたラグビーワールドカップも、その後どう残していくかが大事である。オリンピック等の大会後は、施設が活用されていないという各国の実情があるので、本市において、大会後も、子どもから高齢者など幅広い年代の市民がいきいきと施設を活用することができれば、都内でも先進的な市となるのではないかと感じた。オリンピック以降を大事にしながら、この意思を継いでいってほしい。

委 員：審議会に参加しなければ会うことのなかった人と出会えて、有意義な時間を過ごすことができた。本日も市役所へ向かうバスの車内で「健幸都市」のアナウンスが流れていたが、そのような市の取り組みなどを知る良い機会にもなった。この審議会でも得た知識や、市や審議会が市民の健康やスポーツについて真剣に考えているということや、どうやったら市民に伝えられるだろうかと思っている。そのことを市民一人ひとりが自覚できれば、より良い市になるのではないかと感じた。本市の良さを今後も伝えていきたい。

委 員：約2年間に渡って審議会に関わることができて良かったと感じている。日々忙しい中でこの審議会に参加できたことは、自分自身を振り返る貴重な機会にもなった。スポーツを中心とした「健幸都市」として、本市でいかにスポーツ推進計画を広めていくかを地道に考えたことが、非常に勉強になった。今までの審議会の中で、子どもは外遊びが好きであるという考え方は、必ずしもそうではないという話をしたが、実は体を動かすことが好きではないという子どもも多くいる。そのような子ども達も巻き込んで、体を動かして、生涯健康でいられるような考え方を広めることに努めていきたい。今年から本校にもボッチャクラブができたが、用具等の費用が高いため、援助があればありがたいと思う。私も策定のタイミングが良かったと思うので、レガシーとして、オリンピック後も受け継いで、教員としても広めていきたい。

- 委員：審議会に参加して印象的だったことは、働き盛りの人がスポーツに関わっていないということである。子どもたちは学校や外遊びで体を動かしており、高齢者も健康を考えて運動するようになってきているが、アンケート調査の結果を見ても、一番体を大事にしなればいけない働き盛りの人がスポーツをしていなかった。働き盛りの人も運動できるような施設が、本市の中心にあると良い。公園とスポーツ施設が複合的になったものがあれば、買い物帰りに体動かすこともできるのではないかと思った。本審議会では、様々な立場にある委員の発言を聞くことで、今までにない考え方を知ることができ、勉強になった。
- 委員：審議会に参加して、スポーツの概念を今までよりも広く捉えないといけないと感じた。世の中には運動が嫌いな人もおり、決してそれが悪いということではない。登校拒否になった子どもにアーチェリーを教える機会があるが、その子に合ったスポーツをさせてあげるには、どうしたらよいかと考える時がある。大きな組織や団体から変わっていく必要があるのではないかと考えるきっかけとなり、勉強になった。
- 委員：スポーツはみんなが楽しむべきもので、勝敗だけが大事ではない。今回策定されたスポーツ推進計画でその内容は伝わると思うので、良い計画になったと思う。今後のことを考えると、市民が何か一つ健康づくりのためのきっかけになるような計画であれば良いと思う。体育協会も若返りを図って、市民側に立った見方になるよう見直したい。もう一つはスポーツ施設の拡充について、各種団体の施設を拡充し、維持できる体制ができれば良いと思う。
- 委員：大学の体育学部にいるので、今までもスポーツに関して、地域でできることは何かを考えながらやってきているが、このスポーツ推進計画において、特に重点施策を中心に進めるという目標が明確にされたので、大学内でも学生たちと共に、計画に基づいて活発に取り組みたいと思う。個人的には小学校2年生の時に東愛宕に移り住んで、団地で遊んだり、サッカーをしたりした記憶があり、子ども達にはたくさんの場所でスポーツを楽しんでほしいと思う。高齢者の健康づくりも本市の大きな課題だと感じているので、一緒に取り組んでいきたい。自分自身も運動する機会が少ないので、意識的に運動するようにしているが、本市の働き盛りの方にも提案していきたい。
- 会長：いろいろな審議会に出ているが、本審議会は、毎回委員が真剣に議論しており、このスポーツ推進計画は、実りのある意見が集約された成果なので、着実に推進してほしいと思う。答申において、計画書の表紙は白紙になっているが、表紙は市民が手に取って読めるようなものになるよう、手に取りやすい雰囲気デザインにしたいという考えのもと、現在事務局と作成を行っている。スペース一つをとっても、委員の皆さんの思いが込められているということを理解していただきたい。
- 市長：東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催や、教員からのボッチャ大会開催の提案、地球温暖化による暑さ対策、河川敷にあるグラウンド等のスポーツ施設についてなど、この1年間はスポーツ施設について考えさせられることが多かった。例えば、プールを各小中学校で持ち続ける必要性について、地球温暖化が進む中で、夏も猛暑でプールに入れられない事態になっている。これを防ぐには、プールを屋根付きにするなど多くのコストがかかる。学校では英語や体育の授業が行われるが、全教員がその教科を教えられるのかといった問題もある。地元の大学やスポーツ施設と協力することも考える時代なのかと感じている。地球環境も変わってきているので、今後は考え方を変えていかなければならない。今後は、こういった状況を踏

まえた議論をしてもらえればと思う。

委員：水害があった際、もはや泳げるか否かが問題ではなく、今回の台風のように水に流される危険性も出てきた。

委員：先日の台風の際に浅川の近くで水位が上がり、立体駐車場に車を移動したが、みんな同じように考えているのかほとんど満車状態であった。台風通過後、多摩川の河川敷の様子を見に行っていたが、テニスコートがひび割れており、穴が開いていたり、ベンチが落ちそうになっていたり、無残な状態で危機感を持った。水泳指導については、小学校では7～8月に行っているが、昨年度は暑すぎて10回中、4、5回ほどしか水泳の授業ができなかった。今年度は膨大な水を散布しプール周辺の温度を下げて行ったが、長雨で水泳の授業が少なかった。そのような状況の中でどれだけ泳力をつけるか、教育課程の立て方が難しくなっていると感じている。

委員：スポーツの世界でも、地球環境に対する配慮がテーマになってきている。2022年にユースオリンピックがアフリカのセネガルで行われる予定だが、SDGsや環境をテーマに開催される。ますますスポーツと地球環境の接点が深くなってきている。スポーツを通じて何を伝えていくかということに重要性が置かれるようになり、そこに配慮してスポーツに取り組むようになってきている。

委員：水泳の授業では、若手の教員がプールの準備をしているかと思うが、忙しい中で負担が大きく、教員の立場で考えると水泳の授業は別の施設に移すといったことができれば良いと思う。日本では、小学校のプールにすぐ入れる環境は良いと感じているが、水道代を含め費用がかかる面もあり、教員の負担も大きいので、今後どうすれば良いか提案して話し合う場所を設けられることが大事だと感じた。オランダでは学校にプールはないが、運河が多く夜道が危ないこともあり、幼稚園の入園の際に水泳を習わせるかを聞かれる。学校に施設がなくても、施設を安く利用できるなどの方法で、民間とうまく連携できれば良いのではないかと。

【3 会議録（要旨）確認】

修正無く、承認された。

【4 その他】

- ・台風19号による一ノ宮公園の庭球場と球技場の被害状況報告
- ・第6回審議会について…令和2年3月に開催予定

【5 閉会】